

第 53 回 緊急時対策指針検討会 議事録

1. 開催日時 2022年3月25日(金)10時00分～11時30分
2. 開催場所 一般社団法人 日本電気協会 4階 A, B会議室 (Web併用会議)
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
出席委員: 斉藤主査(北陸電力), 玉井副主査(北海道電力)*1,2,
市原(日本原子力発電)*1, 井門(四国電力)*1, 氏家(東北電力)*1,
高橋健(中部電力), 高橋哲(東京電力HD), 東(九州電力)*1, 山崎(関西電力)*1
(計9名)
代理出席: 新田(中国電力, 安部委員代理)*1 (計1名)
欠席委員: なし (計0名)
常時参加者: 佐々木(北海道電力)*1, 林(九州電力)*1, 藤原(関西電力)*1,
森田(北陸電力), 山本正(原子力安全推進協会)*1,
山本二(日本原子力研究開発機構)*1, (計6名)
説明者: 岡本(四国電力)*1 (計1名)
事務局: 葛西, 田邊 (日本電気協会) (計3名)
*1: Web出席, *2: 議題1により副主査に指名

4. 配付資料

- 資料 No.53(1)-1 原子力規格委員会運転・保守分科会緊急時対策指針検討会委員名簿 (案)
- 資料 No.53(1)-2 第53回緊急時対策指針検討会 (日程調整)
- 資料 No.53(2) 第52回 緊急時対策指針検討会 議事録 (案)
- 資料 No.53(2)参考 第48回運転・保守分科会議事録 (案)
- 資料 No.53(3)-1 原子力規格委員会 運転・保守分科会 2022年度活動計画 (案)
- 資料 No.53(3)-2 2022年度 各分野の規格策定活動
- 資料 No.53(3)参考1 原子力規格委員会 活動の基本方針の改定について
- 資料 No.53(3)参考2 原子力規格委員会 活動の基本方針 新旧比較表
- 資料 No.53(4) JEAG4102 改訂検討に向けた検討課題について
- 資料 No.53(5) 原子力発電所の緊急時対策指針 (4102-202X)改訂のスケジュール (案)
- 資料 No.53(6) 日本電気協会 原子力規格委員会 委員倫理の充実 計画書 (rev1)
- 資料 No.53(6)参考 第47回運転・保守分科会議事録

【前回再掲資料】

- 資料 No.52(4)1 JEAG4102 の今後の改定方針について
- 資料 No.52(4)参考1 JEAG4102 改定案(中間報告)に関する運転・保守分科会から頂いた意見 等
- 資料 No.52(4)参考2 第49回 緊急時対策指針検討会 議事録
- 資料 No.52(4)参考3 緊急時対策指針検討会での公衆審査前の文書・用語チェック時の気づき事項と対応方針
- 資料 No.52(5)参考1 改定スケジュール
- 資料 No.52(6) 原子力規格委員会 分科会規約

5. 議 事

事務局より、本会にて、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後、議事が進められた。

(1) 代理出席者、常時参加者、説明者、オブザーバ、委員定足数、配布資料の確認

事務局から代理出席者 1 名の紹介があり、分科会規約第 13 条（検討会）第 7 項に基づき、主査により承認された。出席委員数は代理出席者を含め 10 名であり、分科会規約第 13 条（検討会）第 15 項に基づく、決議に必要な「委員総数の 3 分の 2 以上の出席(7 名以上)」を満たしていることが確認された。配布資料の確認の後に、事務局より、資料 No.53(1)-1 に基づき、委員変更について紹介があり、委員候補については、分科会規約第 13 条（検討会）第 4 項に基づき、次回運転・保守分科会に諮り承認の後に委員委嘱となるとの紹介の後、新委員 2 名及び新委員候補 1 名の挨拶があった。

その後、齊藤主査より、分科会規約第 13 条（検討会）第 2 項に基づき、北海道電力の玉井委員を副主査に指名した。

(2) 前回議事録の確認

事務局から、資料 No.53(2)に基づき、前回議事録案を紹介し、正式議事録にすることについて、特にコメントはなく承認された。その後、事務局より、資料 No.53(2)参考に基づき、第 48 回運転・保守分科会議事録案の紹介があった。

(3) 2022 年度活動計画について（報告）

齊藤主査より、資料 No.53(3)シリーズに基づき、2022 年度活動計画について説明があった。

主な説明は下記のとおり。

- ・ 2022 年度活動計画について、運転・保守分科会で承認されている。
- ・ 2021 年度活動実績としては、各原子力事業者の訓練等を検討中ということになっている。
- ・ 2022 年度活動計画としては、各原子力事業者での訓練の反映等を検討する。前回の検討会での方向性に従い、2022 年度末より本格的な改定作業に着手する。
- ・ 中長期活動計画としては、改定時期及び検討項目としては、最新の海外事例や各原子力事業者での訓練の反映等を検討する。PWR 特重 EAL の NRA-ATENA 間での議論結果の反映等を検討する。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 特になし。

(4) JEAG4102 改定検討に向けた検討課題について

齊藤主査より、資料 No.53(4)及び前回再掲資料に基づき、JEAG4102 改定検討に向けた検討課題について説明があった。

主な説明は下記のとおり。

- ・ 課題としては 2 つあり、1 つ目は前主査から提示された課題、2 つ目は規制庁との折衝の状況を踏まえた課題の取り込みとなる。
- ・ 前主査から提示された課題については、前回の検討会でも議論があり、2020 年 10 月 28 日に一部改正された原子力災害対策指針（EAL 判断基準見直し等）の反映、運転・保守分科会、原子力規格委員会でもいただいたコメントの反映、2020 年版発刊作業に向けたチェック作業で確認した気づき事項、通報様式の一部見直し、新規規程・指針の制定要否の検討、その他国内外の最新知見の確認がある。
- ・ 規制庁との折衝の状況を踏まえた課題の取り込みについては、ATENA EAL 検討ワーキ

ンググループ、訓練課題検討ワーキンググループ、オンサイト医療体制及びその他がある。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 資料 No.53(4)の規制庁との折衝の状況を踏まえた課題の取り込みの(2) 訓練課題検討ワーキンググループについてイメージが湧かなかったので、各委員の感触を確認したい。
- 訓練課題検討ワーキンググループの件は、訓練の中での力量の維持・向上等の内容と思っており、JANSIの防災訓練のガイドラインの方が教育の拡充とか、評価方法という所が整備されていると思う。そのため、本指針にどう反映するかというのが分からない所があったので、アイデアを頂きたいと考える。
- ・ 基本的にはその通りだと思っているが、防災訓練の中でも訓練の項目とか、キーとなる項目が記載されていると思うため、訓練あり方に対する検討によっては、項目とかが変わってくる可能性があると思う。
- ・ 今回の検討会で各委員の認識合わせが出来た。今後新たな課題が出てくるかもしれないが、情報共有を行いながら進めていきたいと考える。

(5) JEAG4102 改定スケジュール（案）について

齊藤主査より、資料 No.53(5)に基づき、JEAG4102 改定スケジュール（案）について説明があった。

主な説明は下記のとおり。

- ・ 定期改定を5年に1回実施するために前回改定の実績を鑑みると、3年ぐらいの検討、作業期間がかかるため、今後に向けて規制との折衝状況の把握、検討課題抽出をまず行っていく。
- ・ 2025年度に発刊することをターゲットとすると、本格作業開始から月1回程度で改定内容について整理を実施していき、1年程度たったところで中間報告を実施し、コメントを受けて再検討を実施し、その後に審議によるご意見を受けて、公衆審査後に発刊ということになっていく。
- ・ 2022年度は課題の整理と分担をしっかりと実施していかななくてはならないと考えている。
- ・ 基本的には、前回のスケジュール実績に従い進めたいと考えている。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 特になし。

(6) 委員倫理の遵守について

事務局より、資料 No.53(6)シリーズに基づき、委員倫理の遵守の主旨について説明があり、検討会後に倫理テキストの周知する旨の紹介があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 特になし。

(7) その他

1) 常時参加者の承認について

齊藤主査より、分科会規約第13条（検討会）第8項に基づき、北海道電力の佐々木氏が常時参加者として加わることについて、分科会規約第13条（検討会）第15項に基づき、決議の結果、承認された。

2) 一般連絡事項

- ・ 運転・保守分科会は6月上旬及び1月に開催予定としており、先程の改定スケジュールと照らし合わせると、6月上旬の運転・保守分科会に改定スケジュールを示

- す。
- ・ 次回検討会は、12月から1月にかけて調整し決めることにする。

以上